

注3

大学番号：082

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

琉球大学大学院 医学研究科 医学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 琉球大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画戦略部経営戦略課

職名・氏名 クシケン コウジ
具志堅 興治

電話番号 098-895-8105

（夜間） 098-895-8105

F A X 098-895-8185

e-mail kkkaku@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学研究科

<医学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 琉球大学

(2) 大学名

琉球大学

(3) 大学の位置

〒903-0215

沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオシロ ハジメ) 大城 肇 (平成25年4月1日)		
研究科長	(マツシタ マサユキ) 松下 正之 (平成25年4月1日)	(イシダ ハジメ) 石田 肇 (平成29年4月1日)	任期満了 (平成29年4月1日)(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
医学研究科 医学専攻(博士課程) 博士(医学)	医学関係	4年	30人	120人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (-) [-]	人	30人 (-) [-]	人	30人 (-) [-]	人	30人 (-) [-]	人	1.03倍	
志願者数	31 (22) [1]	- (-) [-]	35 (29) [1]	- (-) [-]	39 (33) [-]	- (-) [-]	38 (30) [-]	- (-) [-]		
受験者数	31 (22) [1]	- (-) [-]	34 (28) [1]	- (-) [-]	37 (31) [-]	- (-) [-]	37 (29) [-]	- (-) [-]		
合格者数	30 (22) [1]	- (-) [-]	32 (26) [1]	- (-) [-]	31 (25) [-]	- (-) [-]	36 (28) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	28 (22) [1]	- (-) [-]	32 (26) [1]	- (-) [-]	31 (25) [-]	- (-) [-]	33 (28) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.93		1.06		1.03		1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	28 [1] (-)	- [-] (-)	32 [1] (-)	- [-] (-)	31 [-] (-)	- [-] (-)	34 [1] (1)	- [-] (-)	・平成26年度入学者のうち、早期修了1名あり。(平成28年度)
2年次	/		27 [1] (-)	- [-] (-)	31 [1] (1)	- [-] (-)	35 [-] (5)	- [-] (-)	
3年次	/		/		26 [1] (-)	- [-] (-)	28 [1] (3)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		22 [1] (-)	- [-] (-)	
計	28 [1] ()		59 [2] ()		88 [2] (1)		119 [3] (9)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	28人	2人	平成26年度	1人	人	県外に就職のため	7.14%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	1人	人	海外勤務が延長したため	
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	32人	2人	平成27年度	2人	人	体調不良のため 授業料未納による除籍	6.25%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	31人	0人	平成28年度	人	人		0.00%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	33人	0人	平成29年度	人	人		0.00%
合計	124人	4人					3.22%

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学研究科 博士課程 医学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	研究・生命倫理概論	1前	2			3						
	研究方法論概論	1前	2			4	3	4		1		教員異動に伴う人員変更(29)
	実験動物学概論	1前	2			1	1					
	情報医科学概論	1前	2			4	5	4	1			教員異動に伴う人員変更(29)
	分子細胞生物学概論	1前	2			7	1			1		
プロジェクト関連科目	健康長寿医学概論	1通		4		25	26					教員異動に伴う人員変更(29)
	亜熱帯医学概論	1通		4		12	14					教員異動に伴う人員変更(29)
	社会医学概論	1通		4		7						
	再生・再建医学概論	1通		4		13	14					教員異動に伴う人員変更(29)
	臨床研究教育管理学会概論	1通		4		5	6					教員異動に伴う人員変更(29)
専門科	システム生理学特論	2~3		2		1	1			1		受講者がいないため未開講(29)
	放射線診断治療学特論	2~3		2		1	4			3		教員異動に伴う人員変更(29)
	臨床腫瘍学特論	2~3		2		1	4			3		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	脳神経外科学特論	2~3		2		1				4		
	眼科学特論	2~3		2		4	1			2	3	教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	育成医学特論	2~3		2		1	1			3		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	2~3		2		1	1			3		
	精神病態医学特論	2~3		2		1	1			3		受講者がいないため未開講(29)
	再生医学特論	2~3		2		1				2		受講者がいないため未開講(29)
	先進ゲノム検査医学特論	2~3		2		1	1			4		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	分子解剖学特論	2~3		2		1	4			1		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	ゲノム医科学特論	2~3		2		1	1			1		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	人体解剖学特論	2~3		2		1	1			1		教員異動に伴う人員変更(29) 受講者がいないため未開講(29)
	分子・細胞生理学特論	2~3		2		1	1			1		
	薬理学特論	2~3		2		1	4			2		教員異動に伴う人員変更(29)
	胸部心臓血管外科学特論	2~3		2		1	1			3		受講者がいないため未開講(29)
	麻酔科学特論	2~3		2		1	1			1	2	教員異動に伴う人員変更(29)
	整形外科特論	2~3		2		1			1	3		
	腎泌尿器外科学特論	2~3		2		1	1			2		受講者がいないため未開講(29)
	顎顔面口腔機能再建学特論	2~3		2		1	1			2		
救急医学特論	2~3		2		1			1	4			
臨床薬理学特論	2~3		2		1				2			

目	臨床薬学特論	2~3	2	1										
	医化学特論	2~3	2	1	1		2							
	生化学特論	2~3	2	1	1		1							
	腫瘍病理学特論	2~3	2	1	1		1							
	細胞病理学特論	2~3	2	1	4		1				教員異動に伴う人員変更(29)			
	衛生学・公衆衛生学特論	2~3	2	1	1						教員異動に伴う人員変更(29)			
	法医学特論	2~3	2	1	1		1							
	内分泌代謝・血液・膠原病内科	2~3	2	1	1		3	2			教員異動に伴う人員変更(29)			
	循環器・腎臓・神経内科学特論	2~3	2	1	1		3							
	消化器・腫瘍学特論	2~3	2	1	1		2							
	女性・生殖医学特論	2~3	2	1	4		3	4			教員異動に伴う人員変更(29)			
	ウイルス学特論	2~3	2	1	1		1							
	細菌学特論	2~3	2	1	1		3	1			教員異動に伴う人員変更(29)			
	寄生虫・免疫病因病態学特論	2~3	2	1	1		1							
	皮膚病態制御学特論	2~3	2	1			2	3			教員異動に伴う人員変更(29)			
	免疫学特論	2~3	2	1	1		1							
	感染症・呼吸器・消化器内科学	2~3	2	1	1		3							
	生体防御学特論	2~3	2	1	1									
	感染免疫制御学特論	2~3	2	1										
	臨床研究教育管理学特論	2~3	2	1										
導 研 科 究 目 指	特別演習（研究室ローテーション）	1後~4	4			41	30	28	2	3	72	69		教員異動に伴う人員変更(29)
	大学院特別研究Ⅰ	2通	4			41	30	28	2	3	72	69		教員異動に伴う人員変更(29)
	大学院特別研究Ⅱ	3通	4			41	30	28	2	3	72	69		教員異動に伴う人員変更(29)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	44		52	8	47		55	
				[]	[3]	[]	[3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}}$

=

該当なし

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途変更 (29)		
	校舎敷地	534,590 m ² 537,770 m ²	m ²	m ²	534,590 m ² 537,770 m ²			
	運動場用地	93,280 m ²	m ²	m ²	93,280 m ²			
	小 計	627,870 m ² 631,050 m ²	m ²	m ²	627,870 m ² 631,050 m ²			
	そ の 他	5,952,629 m ² 5,949,449 m ²	m ²	m ²	5,952,629 m ² 5,949,449 m ²			
	合 計	6,580,499 m ²	m ²	m ²	6,580,499 m ²			
(2) 校舎	専 用	179,550 m ² 170,406 m ² (170,406 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	179,550 m ² 170,406 m ² (0 m ²)	大学全体		
	共用							
(3) 教室等	講義室	120 室 121 室	演習室 64 室 160 室	実験実習室 634 室 660 室	情報処理学習施設 18 室 28 室 (補助職員 人)	語学学習施設 4 室 6 室 (補助職員 人)	大学全体	
	専 用							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数				大学全体		
	大学全体	1097 室 649 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体
	高度教職 実践専攻	1,040,405 [319,017] 1,007,806 [302,172] (1,040,405 [319,017]) (1,007,806 [302,172])	23,983 [7,743] 27,417 [13,651] (23,983 [7,743]) (27,417 [13,651])	6,799 [6,338] 6,291 [6,289] (6,799 [6,338]) (6,291 [6,289])	18,228 19,362 (18,228) (19,362)	2,340 (2,340)	280 (280)	
	計	1,040,405 [319,017] 1,007,806 [302,172] (1,040,405 [319,017]) (1,007,806 [302,172])	23,983 [7,743] 27,417 [13,651] (23,983 [7,743]) (27,417 [13,651])	6,799 [6,338] 6,291 [6,289] (6,799 [6,338]) (6,291 [6,289])	18,228 19,362 (18,228) (19,362)	2,340 (2,340)	280 (280)	
(6) 図書館	面 積	11,323 m ² 11,370 m ²	閲覧座席数 1,006 席 1,011 席	収 納 可 能 冊 数 1,091,584 冊 1,169,361 冊	大学全体 増築 (29)			
	面 積	5,473 m ²	野 球 場 1 面	テニスコート 1.2 面 1.0 面	大学全体 用途変更 (29)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
	教員 1 人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次 — 千円	第 2 年次 — 千円	第 3 年次 — 千円	第 4 年次 — 千円	第 5 年次 — 千円	第 6 年次 — 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	琉球大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
法文学部									
総合社会システム学科 (昼間主コース)	4	170	3年次 12	704	学士 (法学、経済学、政策科学・国際関係論)	1.01	平成9年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
総合社会システム学科 (夜間主コース)	4	30	3年次 4人	128	学士 (法学、経済学、政策科学・国際関係論)	1.05	平成9年度	同上	
人間科学科	4	95	3年次 3人	386	学士 (人文社会)	1.05	平成9年度	同上	
国際言語文化学科 (昼間主コース)	4	80	3年次 3人	326	学士 (人文学)	1.08	平成9年度	同上	
国際言語文化学科 (夜間主コース)	4	30	3年次 4人	128	学士 (人文学)	1.06	平成9年度	同上	
観光産業科学部									
観光科学科	4	60	-	240	学士 (観光学)	1.05	平成20年度	同上	
産業経営学科 (昼間主コース)	4	60	-	240	学士 (経営学)	1.01	平成20年度	同上	
産業経営学科 (夜間主コース)	4	20	3年次 4人	88	学士 (経営学)	1.03	平成20年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	100 140	-	400 440	学士 (教育学)	1.03	平成11年度	同上	平成29年度 入学定員増 (40人)
生涯教育課程	4	90 0	-	360 270	学士 (教育学)	-	平成11年度	同上	平成29年度 入学定員減 (90人)
理学部									
数理科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.02	平成8年度	同上	
物質地球科学科	4	65	-	260	学士 (理学)	1.04	平成8年度	同上	
海洋自然科学科	4	95	-	380	学士 (理学)	1.01	平成8年度	同上	
医学部									
医学科	6	112	2年次 5人	677 682	学士 (医学)	1.00	昭和54年度	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	平成27年度 入学定員増 (5人)
保健学科	4	60	-	240	学士 (保健学)	1.00	昭和56年度	同上	

工学部												
機械システム工学科 (昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	沖縄県中頭郡西原 町字千原1番地	平成29年より学生募集停止			
機械システム工学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	同上	平成29年より学生募集停止			
環境建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	同上	平成29年より学生募集停止			
電気電子工学科 (昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	同上	平成29年より学生募集停止			
電気電子工学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	同上	平成29年より学生募集停止			
情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成5年度	同上	平成29年より学生募集停止			
工学科	4	350	-	350	学士 (工学)	1.01	平成29年度	同上				
農学部												
亜熱帯地域農学科	4	35	-	140	学士 (農学)	1.01	平成21年度	同上				
亜熱帯農林環境科学科	4	35	-	140	学士 (農学)	1.00	平成21年度	同上				
地域農業工学科	4	25	-	100	学士 (農学)	1.03	平成21年度	同上				
亜熱帯生物資源科学科	4	35 45	3年次 5人	150 160	学士 (農学)	1.01	平成21年度	同上	平成29年度 入学定員増 (10人)			
【大学院】												
人文社会科学部												
〈博士前期課程〉												
総合社会システム専攻	2	17	-	34	修士 (法学、政治学、経営学、社会学、教育学、心理学、哲学、文学、歴史学、地理学、言語科学、学術)	0.46	平成13年度	同上				
人間科学専攻	2	16	-	32		0.46	平成13年度	同上				
国際言語文化専攻	2	12	-	24		0.91	平成13年度	同上				
〈博士後期課程〉												
比較地域文化専攻	3	4	-	12	博士 (学術)	1.08	平成18年度	同上				
観光科学研究科												
〈修士課程〉												
観光科学専攻	2	6	-	12	修士 (観光学)	0.66	平成21年度	同上				
教育学研究科												
〈修士課程〉												
学校教育専攻	2	3	-	8 6	修士 (教育学)	0.66	平成2年度	同上	平成28年度 入学定員減 (2人)			
特別支援教育専攻	2	3	-	6		1.16	平成18年度	同上				
臨床心理学専攻	2	3	=	6		=	平成18年度	同上	平成29年より学生募集停止			
教科教育専攻	2	12	-	26 24		1.24	平成2年度	同上	平成28年度 入学定員減 (12人)			
高度教職実践専攻	2	14	-	14 28	教職 修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上				
医学研究科												
〈修士課程〉												
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.53	平成16年度	沖縄県中頭郡西原 町字上原207番 地				

〈博士課程〉											
医科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上		平成26年より学生募集停止	
感染制御医科学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上		平成26年より学生募集停止	
医学専攻	4	30	-	90 120		1.03	平成26年度	同上			
保健学研究科											
〈博士前期課程〉											
保健学専攻	2	10	-	20	修士 (保健学)	0.85	昭和61年度	同上			
〈博士後期課程〉											
保健学専攻	3	3	-	9	博士 (保健学)	1.22	平成19年度	同上			
理工学研究科											
〈博士前期課程〉											
機械システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学、理 学)	0.88	平成9年度	沖縄県中頭郡西原 町字千原1番地			
環境建設工学専攻	2	24	-	48		0.76	平成9年度	同上			
電気電子工学専攻	2	24	-	48		0.81	平成9年度	同上			
情報工学専攻	2	18	-	36		1.05	平成9年度	同上			
数理科学専攻	2	10	-	20		0.85	平成10年度	同上			
物質地球科学専攻	2	16	-	32		0.93	平成10年度	同上			
海洋自然科学専攻	2	26	-	52		1.11	平成10年度	同上			
〈博士後期課程〉											
生産エネルギー工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学、理 学、学術)	0.91	平成9年度	同上			
総合知能工学専攻	3	3	-	9		1.11	平成9年度	同上			
海洋環境学専攻	3	5	-	15		0.93	平成10年度	同上			
農学研究科											
〈修士課程〉											
亜熱帯農学専攻	2	35	-	70	修士 (農学)	0.87	平成23年度	同上			
法務研究科											
法務専攻	3	16	-	54 48	法務 博士 (専門職)	0.62	平成16年度	同上		平成27年度 入学定員減 (6人)	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科),

大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに,
平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上
の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・A C対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の
平均の小点数以下第2位まで(小点数以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,
「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 医学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	酒井 哲郎 (60)	平成26年4月	健康長寿医学概論 システム生理学特論						
専	教授	村山 貞之 (58)	平成26年4月	健康長寿医学概論 放射線診断治療学特論						
専	教授	石内 勝吾 (55)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 情報医学概論 脳神経外科学特論						
専	教授	澤口 昭一 (59)	平成26年4月	健康長寿医学概論 眼科学特論			後任未定		平成28年9月 澤口昭一教授退職のため後任を公募中 (29)	
専	教授	太田 孝男 (63)	平成26年4月	健康長寿医学概論 育成医学特論	専	教授	中西 浩一 (53)	平成29年2月	健康長寿医学概論 産婦人科医学概論 再生・再建医学概論 臨床研究教育管理科学概論 育成医学特論	平成28年3月 太田孝男教授退職のため担当者の変更 担当授業科目の変更 (29)
専	教授	近藤 毅 (55)	平成26年4月	社会医学概論 情報医学概論 精神病理学特論						
専	教授	鈴木 幹男 (52)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論						
専	教授	高山 千利 (51)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 研究学方法論概論 分子解剖学特論						
専	教授	陣野 吉廣 (61)	平成26年4月	健康長寿医学概論 分子細胞生物学概論 ゲノム医学特論	専	教授	陣野 吉廣 (61)	平成26年4月	健康長寿医学概論 分子細胞生物学概論 ゲノム医学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	石田 肇 (57)	平成26年4月	健康長寿医学概論 産婦人科医学概論 再生・再建医学概論 研究学方法論概論 情報医学概論 人体解剖学特論	専	教授	石田 肇 (57)	平成26年4月	健康長寿医学概論 産婦人科医学概論 再生・再建医学概論 研究学方法論概論 情報医学概論 研究・生命倫理概論 人体解剖学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	松下 正之 (49)	平成26年4月	健康長寿医学概論 研究学方法論概論 実験動物学概論 研究・生命倫理概論 分子細胞生物学概論 分子・細胞生理学特論	専	教授	松下 正之 (49)	平成26年4月	健康長寿医学概論 研究学方法論概論 実験動物学概論 研究・生命倫理概論 分子細胞生物学概論 分子・細胞生理学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	筒井 正人 (50)	平成26年4月	健康長寿医学概論 薬理学特論						
専	教授	國吉 幸男 (59)	平成26年4月	再生・再建医学概論 胸部心臓血管外科学特論						
専	教授	金谷 文則 (60)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 整形外科特論						
専	教授	齋藤 誠一 (55)	平成26年4月	健康長寿医学概論 泌尿器科学特論						
専	教授	新崎 章 (60)	平成26年4月	再生・再建医学概論 顎顔面口腔機能再建学特論						
専	教授	久木田 一郎 (58)	平成26年4月	健康長寿医学概論 産婦人科医学概論 社会医学概論 救急医学特論						
専	教授	植田 真一郎 (54)	平成26年4月	健康長寿医学概論 社会医学概論 研究学方法論概論 研究・生命倫理概論 臨床薬理学特論	専	教授	植田 真一郎 (54)	平成26年4月	健康長寿医学概論 社会医学概論 研究学方法論概論 臨床研究教育管理科学概論 研究・生命倫理概論 臨床薬理学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	苅谷 研一 (57)	平成26年4月	健康長寿医学概論 情報医学概論 医化学特論	専	教授	苅谷 研一 (57)	平成26年4月	健康長寿医学概論 情報医学概論 分子細胞生物学概論 医化学特論	担当授業科目の変更 (29)

専	教授	山本 秀幸 (58)	平成26年4月	健康長寿医学概論 分子細胞生物学概論 生化学特論						
専	教授	吉見 直己 (59)	平成26年4月	健康長寿医学概論 分子細胞生物学概論 腫瘍病理学特論	専	教授	吉見 直己 (59)	平成26年4月	健康長寿医学概論 分子細胞生物学概論 腫瘍病理学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	青木 一雄 (60)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至熱帯医学概論 社会医学概論 研究方法論概論 衛生学・公衆衛生学特論	専	教授	青木 一雄 (60)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至熱帯医学概論 社会医学概論 研究方法論概論 衛生学・公衆衛生学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	宮崎 哲次 (61)	平成26年4月	社会医学概論 法医学特論						
専	教授	益崎 裕章 (51)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 内分泌代謝・血液・膠原病内 科学特論						
専	教授	大屋 祐輔 (56)	平成26年4月	健康長寿医学概論 社会医学概論 再生・再建医学概論 循環器・腎臓・神経内科学特 論	専	教授	大屋 祐輔 (56)	平成26年4月	健康長寿医学概論 社会医学概論 再生・再建医学概論 臨床研究教育管理学概論 循環器・腎臓・神経内科学特 論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	西巻 正 (60)	平成26年4月	健康長寿医学概論 再生・再建医学概論 消化器・腫瘍外科学特論						
専	教授	青木 陽一 (56)	平成26年4月	健康長寿医学概論 女性・生殖医学特論	専	教授	青木 陽一 (56)	平成26年4月	健康長寿医学概論 臨床研究教育管理学概論 女性・生殖医学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	鈴木 敏彦 (49)	平成26年4月	至熱帯医学概論 細菌学特論	専	教授	山城 哲 (56)	平成28年4月	至熱帯医学概論 細菌学特論	平成27年6月 鈴木敏彦教授退職のため担当の変更 担当授業科目の変更 (29)
専	教授	岸本 英博 (52)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至熱帯医学概論 分子細胞生物学概論 寄生虫・免疫病因病理学特論	専	教授	岸本 英博 (52)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至熱帯医学概論 研究・生命倫理概論 分子細胞生物学概論 寄生虫・免疫病因病理学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	教授	上里 博 (63)	平成26年4月	至熱帯医学概論 皮膚病態制御学特論						平成28年3月 上里博教授退職のため「至熱帯医学概 論」「皮膚病態制御学特論」は高橋教 授が担当 (29)
専	教授	田中 勇悦 (59)	平成26年4月	至熱帯医学概論 再生・再建医学概論 分子細胞生物学概論 免疫学特論						
専	教授	藤田 次郎 (57)	平成26年4月	至熱帯医学概論 感染症・呼吸器・消化器内科 学特論						
専	教授	松崎 吾朗 (52)	平成26年4月	至熱帯医学概論 研究方法論概論 生体訪問学特論						
専	教授	渡部 久実 (64)	平成26年4月	至熱帯医学概論 実験動物学概論 感染免疫制御学特論						平成27年3月 渡部久実教授退職のため、「至熱帯医 学概論」「感染免疫制御学特論」は新 川武教授が担当 (29)
専	准教授	細川 浩 (58)	平成26年4月	システム生理学特論						
専	准教授	戸板 孝文 (51)	平成26年4月	放射線診断治療学特論	専	講師	山城 恒雄 (40)	平成29年4月	放射線診断治療学特論	平成29年3月退職 戸板孝文准教授退職のため担当者の変 更 (29)
専	准教授	知念 安紹 (48)	平成26年4月	育成医学特論						
専	准教授	三原 一雄 (47)	平成26年4月	情報医科学概論 精神病態医学特論						
専	准教授	要 匡 (50)	平成26年4月	情報医科学概論 遺伝医学特論	専	助教	今村 美菜子 (47)	平成27年11月	情報医科学概論 遺伝医学特論 研究方法論概論 先端ゲノム検査医学特論	平成27年3月 要匡准教授退職のため担当者の変更 担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	岡部 明仁 (42)	平成26年4月	分子解剖学特論			後任未定			平成29年3月退職 岡部明仁准教授退職のため後任を公募 中 (29)
専	准教授	小田 高也 (52)	平成26年4月	ゲノム医学特論						

専	准教授	木村 亮介 (39)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至終帯医学概論 再生・再建医学概論 研究方法论概論 情報医学概論 人体解剖学特論	専	准教授	木村 亮介 (39)	平成26年4月	健康長寿医学概論 至終帯医学概論 再生・再建医学概論 研究方法论概論 情報医学概論 人体解剖学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	中村 真理子 (55)	平成26年4月	分子・細胞生理学特論						
専	准教授	野口 克彦 (62)	平成26年4月	薬理学特論			後任未定			平成29年3月 野口克彦准教授退職のため後任を公募 中 (29)
専	准教授	山城 聡 (48)	平成26年4月	胸部心臓血管外科学特論						
専	准教授	垣花 学 (47)	平成26年4月	再生・再建医学概論 情報医学概論 麻酔科学特論	専	教授	垣花 学 (47)	平成26年5月	再生・再建医学概論 情報医学概論 麻酔科学特論	平成26年5月 准教授から教授へ昇任 (29)
専	准教授	大城 吉則 (51)	平成26年4月	泌尿器科学特論	専	准教授	宮里 実 (48)	平成27年4月	泌尿器科学特論 腎泌尿器外科学特論	平成27年3月 大城吉則准教授退職のため担当者の変 更 担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	海川 正人 (44)	平成26年4月	情報医学概論 医化学特論						
専	准教授	西原 一秀 (53)	平成26年4月	顎顔面口腔機能再建学特論						
専	准教授	徳 誠吉 (64)	平成26年4月	生化学特論	専	助教	鳥原 英嗣 (36)	平成27年4月	生化学特論	平成27年3月 徳誠吉准教授退職のため担当者の変 更 (29)
専	准教授	富田 真理子 (46)	平成26年4月	腫瘍病理学特論						
専	准教授	千葉 俊明 (41)	平成26年4月	細胞病理学特論			後任未定			平成27年9月 千葉俊明准教授退職のため後任を公募 中 (29)
専	准教授	等々力 英美 (63)	平成26年4月	研究方法論概論 衛生学・公衆衛生学特論						平成28年3月 等々力英美准教授退職のため、「研究 方法論概論」「衛生学・公衆衛生学特 論」は花城和彦准教授が担当 (29)
専	准教授	福家 千昭 (54)	平成26年4月	法医学特論						
専	准教授	友寄 毅昭 (43)	平成26年4月	内分泌代謝・血液・膠原病内 科学特論	専	准教授	森島 聡子 (49)	平成29年1月	内分泌代謝・血液・膠原病内科学 特論	平成28年3月 友寄毅昭退職のため担当者の変 更 (29)
専	准教授	岩淵 成志 (52)	平成26年4月	循環器・腎臓・神経内科学特 論						
専	准教授	只野 昌之 (60)	平成26年4月	微生物・腫瘍学特論	専	准教授	只野 昌之 (60)	平成26年4月	微生物・腫瘍学特論 ウイルス学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	白石 祐之 (57)	平成26年4月	消化器・腫瘍外科学特論						
専	准教授	長井 裕 (48)	平成26年4月	女性・生殖医学特論	専	助教	大山 拓真 (37)	平成29年4月	女性・生殖医学特論	平成29年3月 長井裕准教授退職のため担当者の変 更 (29)
専	准教授	當眞 弘 (52)	平成26年4月	寄生虫・免疫病因病学特論						
専	准教授	高橋 健造 (53)	平成26年4月	皮膚病態制御学特論	専	教授	高橋 健造 (53)	平成26年4月	至終帯医学概論 皮膚病態制御学特論	平成29年4月 准教授から教授へ昇任 担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	藤猪 英樹 (45)	平成26年4月	免疫学特論						
専	准教授	健山 正男 (55)	平成26年4月	感染症・呼吸器・消化器内科 学特論						

専	准教授	新川 武 (44)	平成26年4月	生体防衛学特論	専	教授	新川 武 (44)	平成27年4月	生体防衛学特論 産熱帯医学概論 感染免疫制御学特論	平成27年4月 准教授から教授へ昇任 担当授業科目の変更 (29)
専	准教授	梅村 正幸 (45)	平成26年4月	生体防衛学特論						
専	講師	近藤 豊 (34)	平成26年4月	救急医学特論			後任未定			平成28年12月 近藤豊講師退職のため担当者の変更 (29) 平成29年4月 丸山大介退職のため後任を公募中 (29)
専	助教	梁 運飛 (59)	平成26年4月	システム生理学特論						
専	助教	垣花 泰政 (52)	平成26年4月	放射線診断治療学特論						
専	助教	神谷 尚 (37)	平成26年4月	放射線診断治療学特論	専	助教	淵上 真穂 (35)	平成27年10月	放射線診断治療学特論	平成26年9月 神谷尚助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	與儀 彰 (36)	平成26年4月	放射線診断治療学特論	専	助教	安座間 喜明 (38)	平成29年4月	放射線診断治療学特論	平成27年3月 與儀彰助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	西村 正彦 (39)	平成26年4月	脳神経外科学特論						
専	助教	片桐 千秋 (38)	平成26年4月	脳神経外科学特論						
専	助教	外間 洋平 (33)	平成26年4月	脳神経外科学特論						
専	助教	長嶺 英樹 (40)	平成26年4月	脳神経外科学特論	専	助教	金城 雄生 (29)	平成27年10月	脳神経外科学特論	平成27年8月 長嶺英樹助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	新垣 淑邦 (39)	平成26年4月	眼科学特論	専	准教授	酒井 寛 (49)	平成27年8月	眼科学特論	平成27年8月 新垣淑邦助教、附属病院への異動の ため担当者の変更 (29)
専	助教	山内 遵秀 (38)	平成26年4月	眼科学特論						
専	助教	谷地森 隆二 (44)	平成26年4月	眼科学特論						
専	助教	兼次 拓也 (41)	平成26年4月	育成医学特論						
専	助教	浜田 和弥 (34)	平成26年4月	育成医学特論						
専	助教	金城 紀子 (53)	平成26年4月	育成医学特論						
専	助教	喜友名 朝則 (40)	平成26年4月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	専	准教授	真栄田 裕行 (49)	平成27年8月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	平成27年8月 喜友名朝則助教、附属病院への異動の ため担当者の変更 (29)
専	助教	我那覇 章 (42)	平成26年4月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	専	助教	平川 仁 (44)	平成27年4月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	平成26年7月 我那覇章助教、附属病院への異動の ため担当者の変更 (29)
専	助教	山下 懐 (39)	平成26年4月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論						
専	助教	鄧 澤義 (38)	平成26年4月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	専	助教	池上 太郎 (36)	平成27年1月	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	平成26年12月 鄧澤義助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	島袋 盛洋 (41)	平成26年4月	精神病態医学特論						
専	助教	仲本 謙 (34)	平成26年4月	精神病態医学特論	専	助教	喜瀬 貴則 (40)	平成27年4月	精神病態医学特論	平成27年3月 仲本謙助教退職のため担当者の変更 (29)

専	助教	甲田 宗良 (29)	平成26年4月	精神病理学特論						
専	助教	潮平 知佳 (43)	平成26年4月	先進検査医学特論	専	助教	潮平 知佳 (43)	平成26年4月	先進検査医学特論 再生医学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	助教	大倉 信彦 (56)	平成26年4月	分子解剖学特論						
専	助教	杉本 潤 (42)	平成26年4月	ゲノム医学特論	専	助教	杉本 潤 (42)	平成26年4月	分子細胞生物学概論 ゲノム医学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	助教	泉水 奏 (56)	平成26年4月	人体解剖学特論						
専	助教	砂川 昌範 (47)	平成26年4月	分子・細胞生理学特論	専	助教	早川 朋子 (45)	平成26年8月	分子・細胞生理学特論	平成26年6月 砂川昌範助教、附属病院への異動のため 担当者の変更 (29)
専	助教	松崎 俊博 (59)	平成26年4月	薬理学特論						
専	助教	坂梨 まゆ子 (40)	平成26年4月	薬理学特論						
専	助教	仲榮眞 盛保 (44)	平成26年4月	胸部心臓血管外科学特論						
専	助教	喜瀬 勇也 (38)	平成26年4月	胸部心臓血管外科学特論						
専	助教	前田 達也 (35)	平成26年4月	胸部心臓血管外科学特論						
専	助教	齊川 仁子 (42)	平成26年4月	麻酔科学特論	専	助教	神里 興太 (39)	平成29年4月	麻酔科学特論	平成27年1月退職 齊川仁子助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	照屋 孝二 (44)	平成26年4月	麻酔科学特論						
専	助教	神谷 武志 (39)	平成26年4月	整形外科科学特論	専	講師	前原 博樹 (44)	平成27年1月	整形外科科学特論	平成26年8月 神谷武志助教、附属病院への異動のため 担当者の変更 (29)
専	助教	堀切 健士 (39)	平成26年4月	整形外科科学特論	専	助教	金城 政樹 (43)	平成27年4月	整形外科科学特論	平成27年3月 堀切健士助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	山内 貴敬 (40)	平成26年4月	整形外科科学特論	専	助教	大久保 宏貴 (39)	平成28年4月	整形外科科学特論	平成28年3月 山内貴敬助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	普天間 朝上 (52)	平成26年4月	整形外科科学特論						
専	助教	大城 琢磨 (40)	平成26年4月	泌尿器科学特論	専	助教	仲西 昌太郎 (36)	平成29年5月	泌尿器科学特論 腎泌尿器外科学特論	平成27年6月 大城琢磨助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	須田 哲司 (39)	平成26年4月	泌尿器科学特論	専	助教	須田 哲司 (39)	平成26年4月	泌尿器科学特論 腎泌尿器外科学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	助教	喜名 振一郎 (39)	平成26年4月	顎顔面口腔機能再建学特論						
専	助教	仲宗根 敏幸 (46)	平成26年4月	顎顔面口腔機能再建学特論	専	助教	仁村 文和 (45)	平成27年10月	顎顔面口腔機能再建学特論	平成26年8月 仲宗根敏幸助教、附属病院への異動のため 担当者の変更 (29)
専	助教	花城 和彦 (49)	平成26年4月	救急医学特論	専	准教授	花城 和彦 (49)	平成26年4月	救急医学特論 研究方法论概論 衛生学・公衆衛生学特論	平成28年10月 助教から准教授へ昇任 (29)
専	助教	松下 明子 (40)	平成26年4月	臨床薬理学特論	専	助教	松下 明子 (40)	平成26年4月	研究方法论概論 臨床薬理学特論	担当授業科目の変更 (29)

専	助教	安里 剛 (48)	平成26年4月	医化学特論						
専	助教	野中 公子 (44)	平成26年4月	医化学特論						
専	助教	仲嶺 三代美 (40)	平成26年4月	生化学特論	専	准教授	仲嶺 三代美 (40)	平成26年4月	生化学特論	平成27年4月 助教から准教授へ昇任 (29)
専	助教	松崎 晶子 (50)	平成26年4月	腫瘍病理学特論						
専	助教	新垣 和也 (36)	平成26年4月	細胞病理学特論	専	助教	真築城 良子 (41)	平成29年1月	細胞病理学特論 腫瘍病理学特論	平成27年1月 新垣和也退職のため担当者の変更 担当授業科目の変更 (29)
専	助教	井濱 容子 (41)	平成26年4月	法医学特論	専	助教	二宮 賢司 (35)	平成27年4月	法医学特論	平成27年3月 井濱容子助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	植田 玲 (37)	平成26年4月	内分泌代謝・血液・膠原病内 科学特論						
専	助教	砂川 澄人 (36)	平成26年4月	内分泌代謝・血液・膠原病内 科学特論						
専	助教	渡嘉敷 崇 (47)	平成26年4月	循環器・腎臓・神経内科学特 論	専	助教	宮城 剛志 (38)	平成27年7月	循環器・腎臓・神経内科学特論	平成27年7月 渡嘉敷崇助教 附属病院へ異動のため 担当者の変更 (29)
専	助教	山里 正演 (47)	平成26年4月	循環器・腎臓・神経内科学特 論						
専	助教	大城 克彦 (38)	平成26年4月	循環器・腎臓・神経内科学特 論	専	助教	當間 裕一郎 (38)	平成28年7月	循環器・腎臓・神経内科学特論	平成28年4月 大城克彦助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	下地 英明 (49)	平成26年4月	消化器・腫瘍外科学特論						
専	助教	佐村 博範 (49)	平成26年4月	消化器・腫瘍外科学特論	専	助教	國仲 弘一 (43)	平成29年1月	消化器・腫瘍外科学特論	平成28年3月 佐村博範助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	金城 忠嗣 (40)	平成26年4月	女性・生殖医学特論						
専	助教	若山 明彦 (40)	平成26年4月	女性・生殖医学特論						
専	助教	斉藤 美加 (52)	平成26年4月	微生物・腫瘍学特論	専	助教	斉藤 美加 (52)	平成26年4月	微生物・腫瘍学特論 ウイルス学特論	担当授業科目の変更 (29)
専	助教	TOMA CLAUDIA (46)	平成26年4月	細菌学特論	専	准教授	TOMA CLAUDIA (46)	平成26年4月	細菌学特論	平成29年4月 助教から准教授へ昇任 (29)
専	助教	仲宗根 昇 (62)	平成26年4月	細菌学特論	専	助教	岩下 華子 (43)	平成29年5月	細菌学特論	平成29年3月 仲宗根昇助教退職のため担当者の変更 (29)
専	助教	高江洲 義一 (40)	平成26年4月	細菌学特論	専	准教授	高江洲 義一 (40)	平成26年4月	細菌学特論 生体防御学特論	平成28年5月 助教から准教授へ昇任 担当授業科目の変更 (29)
専	助教	野中 大輔 (44)	平成26年4月	寄生虫・免疫病因病学特論	専	助教	村上 明一 (45)	平成27年5月	寄生虫・免疫病因病学特論	平成27年4月 野中大輔助教、保健学科へ異動のため 担当者の変更 (29)
専	助教	苅谷 嘉之 (45)	平成26年4月	皮膚病態制御学特論						
専	助教	眞鳥 繁隆 (36)	平成26年4月	皮膚病態制御学特論						
専	助教	高橋 良明 (44)	平成26年4月	免疫学特論						

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成			
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（A））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （B））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数	
65	0	0	
歳	名	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1						なし	
合計 (A)				後任補充状況の集計 (B)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	澤口 昭一	選択 選択	健康長寿医学概論 眼科学特論	③	平成28年9月死亡 (29)
2	教授	太田 孝男	選択	健康長寿医学概論 育成医学特論	①	平成28年3月定年退職 (29)
3	教授	鈴木 敏彦	選択	亜熱帯医学特論 細菌学特論	①	平成27年6月退職 (29)
4	教授	上里 博	選択	亜熱帯医学特論 皮膚病態制御学特論	①	平成28年3月定年退職 (29)
5	教授	渡部 久実	必修	実験動物学概論	①	平成27年3月定年退職 (29)
			選択	亜熱帯医学特論 感染免疫制御学特論		
6	准教授	戸板 孝文	選択	放射線診断治療学特論	①	平成29年3月退職 (29)
7	准教授	要 匡	必修	情報医学特論	①	平成27年3月退職 (29)
			選択	遺伝医学特論		
8	准教授	岡部 明仁	選択	分子解剖学特論	③	平成29年3月退職 (29)
9	准教授	野口 克彦	選択	薬理学特論	③	平成29年3月定年退職 (29)
10	准教授	垣花 学	選択	麻酔科学特論	①	平成26年5月昇任 (29)
11	准教授	大城 吉則	選択	泌尿器外科学特論	①	平成27年3月退職 (29)
12	准教授	徳 誠吉	選択	生化学特論	①	平成27年3月定年退職 (29)
13	准教授	千葉 俊明	選択	細胞病理学特論	③	平成27年9月退職 (29)
14	准教授	友寄 毅昭	選択	内分泌代謝・血液・膠原病内科学特論	①	平成28年3月退職 (29)
15	准教授	等々力 英美	選択	衛生学・公衆衛生学特論	①	平成28年3月定年退職 (29)
16	准教授	長井 裕	選択	女性・生殖医学特論	①	平成29年3月退職 (29)
17	准教授	高橋 健造	選択	皮膚病態制御学特論	①	平成28年4月昇任 (29)
18	准教授	新川 武	選択	生体防御学特論	①	平成27年4月昇任 (29)
19	講師	近藤 豊	選択	救急医学特論	③	平成28年12月退職 (29)
20	助教	神谷 尚	選択	放射線診断治療学特論	①	平成26年3月退職 (29)
21	助教	與儀 彰	選択	放射線診断治療学特論	①	平成27年3月退職 (29)
22	助教	長嶺 英樹	選択	脳神経外科学特論	①	平成27年8月退職 (29)
23	助教	新垣 淑邦	選択	眼科学特論	①	平成27年8月附属病院へ異動 (29)
24	助教	喜友名 朝則	選択	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	①	平成27年8月附属病院へ異動 (29)
25	助教	我那覇 章	選択	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	①	平成26年7月附属病院へ異動 (29)
26	助教	鄧 澤義	選択	耳鼻咽喉・頭頸部外科学特論	①	平成26年12月退職 (29)
27	助教	仲本 謙	選択	精神病態医学特論	①	平成27年3月退職 (29)
28	助教	砂川 昌範	選択	分子・細胞生理学特論	①	平成27年6月附属病院へ異動 (29)
29	助教	齊川 仁子	選択	麻酔科学特論	①	平成27年1月退職 (29)
30	助教	神谷 武志	選択	整形外科特論	①	平成26年8月附属病院へ異動 (29)
31	助教	堀切 健士	選択	整形外科特論	①	平成27年3月退職 (29)
32	助教	山内 貴敬	選択	整形外科特論	①	平成28年3月退職 (29)
33	助教	大城 琢磨	選択	泌尿器外科学特論	①	平成27年6月退職 (29)
34	助教	仲宗根 敏幸	選択	顎顔面口腔機能再建学特論	①	平成26年8月附属病院へ異動 (29)

35	助教	花城 和彦	選択	救急医学特論	③	平成28年10月昇任 (29)			
36	助教	仲嶺 三代美	選択	生化学特論	①	平成27年4月昇任 (29)			
37	助教	新垣 和也	選択	細胞病理学特論	①	平成27年1月退職 (29)			
38	助教	井濱 容子	選択	法医学特論	①	平成27年3月退職 (29)			
39	助教	渡嘉敷 崇	選択	循環器・腎臓・神経内科学特論	①	平成28年3月退職 (29)			
40	助教	大城 克彦	選択	循環器・腎臓・神経内科学特論	①	平成28年4月退職 (29)			
41	助教	佐村 博範	選択	消化器・腫瘍外科学特論	①	平成28年3月退職 (29)			
42	助教	仲宗根 昇	選択	細菌学特論	①	平成29年3月定年退職 (29)			
43	助教	野中 大輔	選択	寄生虫・免疫病因病理学特論	①	平成27年4月保健学科へ異動 (29)			
44	助教	岸本 一人	選択	感染症・呼吸器・消化器内科学特論	①	平成27年3月退職 (29)			
45	助教	原永 修作	選択	感染症・呼吸器・消化器内科学特論	①	平成27年4月附属病院へ異動 (29)			
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
45	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	31 科目	選択	31 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	33 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
45	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	31 科目	自由	31 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	33 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>医学研究科では専任教員の退職等に伴う指導教員の欠員に際しては、当該教員の提供してきた教育・研究分野の継続性を重視し、速やかに教員公募し欠員補充を図っている。</p> <p>学生の指導については、主指導教員だけでなく、副指導教員を配置している。また、主指導教員の後任補充が速やかに得られない場合は、研究科教授会の議を経て主指導教員を選出し、学生の履修等に影響が及ばないよう配慮している。</p> <p>また、指導教員の変更に伴う学生への周知については、書面での変更通知により本人へ周知している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年8月)		該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (27年2月)		該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)		該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)		該当なし	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<医学研究科 医学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更なし
② 施設・設備	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 医学研究科教授会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 医学研究科教授会(定例開催第2水曜日・教授会構成員37名)</p> <p>c 委員会の審議事項等 医学研究科教授会(平成22年3月19日制定) (審議事項)</p> <p>第3条 (1) 教員の人事に関すること。 (2) 研究科長の推薦に関すること。 (3) 専攻等の設置、改廃に関すること。 (4) 研究科規程等の制定改廃に関すること。 (5) 研究科の予算の編成及び配分に関すること。 (6) 研究科の教育課程及び試験に関すること。 (7) 学生の入学及び課程修了の認定に関すること。 (8) 学位に関すること。 (9) 学生生活の支援及び身分に関すること。 (10) 前9号に規定するもののほか通則第3条に定めるもの並びにその他研究科の教育、研究及び運営に関する重要事項</p> <p>2 教授会は、前項に掲げる事項のほか、国立大学法人琉球大学教員就業規程(上原事業場)によるその権限に属せしめられた事項を取り扱う。</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 授業方法についての研究会 ・ 学外講師による講演</p> <p>b 実施方法 ・ 学外講師による講演会</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>1. 講演会 日 時:平成28年9月9日 演 題:生命倫理に関する講演「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」 講 師:東京大学大学院人文社会系研究科 会田薫子 特命准教授 参加者:教員24名、その他36名</p> <p>2. 講演会 日 時:平成29年1月18日 演 題:「分身ロボットは人を生かすか」 講 師:株式会社オリュイ研究所代表取締役CEO 吉藤 健太郎 参加者:教員26名、その他47名</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 医学研究科において、「研究倫理に関するFD」を授業の一環として定期的開催しており、研究科を挙げて研究倫理の涵養を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
 授業評価アンケートの一環として、学生へ研究論文の進捗と方向性の確認、プレゼンテーションのトレーニングの機会を目的として実施している中間発表会（博士課程3年次と修士課程2年次を対象）においてアンケートを実施し、発表者を含む大学院生、主指導教員及び副指導教員等からの意見等を聴取している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
 医学研究科教授会において、集計結果を報告している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「教育実施体制」については、平成27年度に文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「臨床研究マネジメント人材育成-臨床的疑問を解決する研究スキルと研究の品質管理能力の涵養-」に採択され、新たに臨床研究教育管理学プロジェクトを加えた5コースにより、基礎医学分野及び臨床医学分野のほぼすべての教員が教育研究の指導に当たっている。また、研究倫理教育の充実を図るため副指導教員を配置し、学位論文投稿前の法令遵守等の事前審査を必須とし、大学院生が研究倫理に疑問を抱いた場合の相談の役割等指導体制が整備され、学位論文としての質保証がなされている。

「教育内容・方法」については、講義を中心としたコースワーク、研究室ローテーション（特別演習）、多講座間連携研究によるリサーチワークを体系的に学ぶことにより、複雑高度化する医療・生命科学における異なる分野の最新の知識と研究技術を学んでいる。また、社会人学生へ配慮した講義時間の配置や講義に出席できなかった学生に対してDVD視聴とその後の口頭試問等による知識の定着を促している。

また、中間発表会において、アクティブ・ラーニング力を養うことにより教育方法の充実を図っている。

以上の取組により、入学定員の十分な充足と併せて質の向上においても期待される水準を上回っているものと判断される。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
 ・平成28年6月 公表

b 公表方法
 ・大学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
 ・平成29年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の評価を受審予定

(注)・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年 9月頃)